

2025年9月22日

立教大学国際学術研究交流制度
2025年度「派遣研究員」報告書

1. 派遣概要

所属・職	文学部・教授
氏名	井出 万秀
派遣機関名	Department of German Studies, Faculty of Language, Literature and Culture, University of Innsbruck 所在国：オーストリア
研究テーマ	物語の可視化・表象化——聖書ストーリーを例に
派遣期間	2025年8月21日～2025年9月19日（30日間）
研究経費	848,620円

2. 派遣期間中の活動

離日日および帰国日を含め、派遣期間中の活動を記入してください。全日程（毎日）記載する必要はありません。

活動内容記入例）〇〇に関する調査、〇〇氏と研究討議、共同研究、講演、視察等

年月日	活動内容
2025/08/21（木）	離日
2025/08/22（金）	インスブルック着
2025/08/25（月）	インスブルック大学ホスト教授訪問；大学図書館で調査
2025/08/26（火）	大学図書館で調査
2025/08/27（水）	大学図書館で調査；元東京外国語大学教授ペーター・ジャコムッチ氏，元東京外国語大学・日大文理学部教授レナーテ・ジャコムッチ氏訪問
2025/08/28（木）	大学図書館で調査
2025/08/29（金）	大学図書館で調査
2025/08/30（土）	ボーツェン（大聖堂博物館），メラーン（チロル城）
2025/08/31（日）	ブリクセン（大聖堂回廊フレスコ画）
2025/09/01（月）	大学図書館で調査
2025/09/02（火）	ミュンヘン（アルテ・ピナコテーク）
2025/09/03（水）	大学図書館で調査
2025/09/04（木）	ミュンヘン（バイエルン国立博物館）
2025/09/05（金）	聖ヴェルフガング教会（ザルツブルク郊外）
2025/09/06（土）	大学図書館で調査
2025/09/07（日）	大学図書館で調査

2025/09/08 (月)	大学図書館で調査；インスブルック大学インターナショナルオフィス表敬訪問
2025/09/09 (火)	大学図書館で調査
2025/09/10 (水)	大学図書館で調査
2025/09/11 (木)	大学図書館で調査
2025/09/12 (金)	ブリクセン (大聖堂回廊フレスコ画), シュテルツィンク (市立博物館)
2025/09/13 (土)	大学図書館で調査
2025/09/14 (日)	大学図書館で調査
2025/09/15 (月)	大学図書館で調査
2025/09/16 (火)	ブリクセン (ボン大学ブリュッケン教授, ロストック大学ホルツナーゲル教授と研究討議)
2025/09/17 (水)	ミュンヘン (元大阪外国語大学ヴァイラント教授訪問)
2025/09/18 (木)	離独
2025/09/19 (金)	日本帰国

3. 研究・交流状況および成果

上記に記載した活動について、具体的な研究・交流の内容および成果、今後の研究の展望、本学と派遣機関との研究交流にかかる成果、展望等を記入してください。

第1週目、大学図書館ではティロール地方の彫像・絵画についての文献を調査し、第2週目の訪問先を検討し、第2週目はインスブルックを拠点として日帰り可能な範囲で博物館・教会を視察、彫像・絵画の写真撮影を行った。ターゲットは12世紀から16世紀半ばにかけての中世宗教彫刻(祭壇彫刻)、宗教絵画(祭壇画)であり、第3・4週目は第2週目に撮影した写真をテキストにまとめ、日本語およびドイツ語で講義原稿を執筆し、かなりの進捗を達成することができた。重要な文献についてはPDFコピーし、今後の原稿執筆の際に参照する準備ができた。特にブリクセン大聖堂回廊フレスコ画については、ドイツ語での絵画説明と実際の写真を組み合わせて100頁程度の説明文を作成することができた。今後、日本語に訳して講義資料として使う予定である。このフレスコ画の特徴は新約聖書と旧約聖書の対応関係を論じる「予表」(Typologie)を描いていることであり、一般には「大衆聖書」(Armenbibel)と呼ばれるジャンルで写本挿絵になることが多いが、フレスコ画として現在にまで残されているのは希である。研究と並行して文学部の協定校であるインスブルック大学インターナショナルオフィスを表敬訪問し、今後の交流についても意見を交わした。